

## 平成 30 年度第 2 回十和田商工会議所経営発達支援事業評価委員会会議録

1. 日 時 平成 31 年 3 月 20 日（水）13 時 50 分～14 時 50 分
2. 場 所 十和田商工会館 2 階議員サロン
3. 出席者
  - (1) 委 員 櫻田一雅委員長、岩間貴委員、鈴木大介委員、今辰八委員
  - (2) 事務局 和田康文、馬場聡全、紺野剛、晴山雅紀
4. 委員長挨拶  
櫻田委員長より挨拶。
5. 内 容  
櫻田委員長が議長となり、案件に入った。
  - (1) 平成 30 年度事業評価について  
事務局より、今年度の経営発達支援計画評価表について資料により説明。

委員から次のような意見・質問等があった。

- ・「経営分析する事業者の掘り起こし」について目標の数値設定なしに対して、実績がアンケート回収件数 157 件で評価 A としているが、何件に発送してこの回収件数で評価 A としたかがわからないので教えてほしい。  
→ 発送件数は小規模事業者以外も含めた 1,171 件であるが、計画ではセミナー受講者や巡回・窓口相談者から掘り起こすとしていたものを、こうしたものでは把握しきれない支援希望者を掘り起こすという意味で、新たにアンケート調査を行ったということで A 評価とした。
- ・事業計画策定やその後のフォローアップ件数などを見ると、限られた人数でよくやっていると評価できる。一方、1,171 社に発送したアンケート回収件数が 157 件というのを見ると、残りの約 1,000 社については掘り起こしができていないということになり、また、こうしたアンケートに回答できなかった企業の中にも迷っていたり考えているところもまだあると思うので、回収できなかった企業に対しても今後の巡回等により掘り起こしを進めてもらいたい。  
→ 来年度以降、こうしたことも意識して巡回等行っていきたい。
- ・この計画は 5 年間このまま続くということか。例えば「中心市街地活性化事業」の目標となっている歩行者通行量調査は、確かにこれまでは加重平均で目標値を設定していたが、今年 4 月からの第 2 期十和田市中心市街地活性化基本計画からは単純平均で出すやり方に変更している。当計画も整合性をとる必要は無いか。  
→ 今の内容であれば評価表でわかるように両方併記するなどして対応できると思うが、その他の部分で計画との整合性が取れなくなってくるような場合は、その都度計画の目標値や比較数値変更の必要性について検討する。

・市が開催している創業セミナーや中小企業基本条例の意見交換会などの場で、この計画のPRを行うなどすれば、事業者への周知や掘り起こしにつながるのではないかと。→今後どのような方法があるか検討する。

議長はそのほか意見等諮ったところ特になく、14時50分に終了した。

平成30年度経営発達支援計画評価表（十和田商工会議所）

項目	目標	実績
I. 経営発達支援事業の内容		
1. 地域の経済動向調査に関すること		
（1）景況動向の調査・分析	25社（4回）	25社（3回）
（2）日本商工会議所L O B O調査	5社（12回）	5社（12回）
●L O B O調査・景況動向調査公表	4回	3回
（3）十和田市商店街区歩行者通行量調査	18箇所（1回）	18箇所（1回）
（4）十和田市中心商店街区空き地空き店舗調査	4箇所（1回）	4箇所（1回）
●通行量・空き店舗調査公表	1回	1回
2. 経営状況の分析に関すること		
（1）経営分析する事業者の掘り起こし	数値設定なし	アンケート回収件数157件
（2）経営分析の実施	ヒアリング35件 経営分析25件	ヒアリング33件 経営分析32件
（3）結果の活用	数値設定なし	—
3. 事業計画策定支援に関すること		
（1）事業計画策定支援	20件	31件
●事業計画作成支援セミナー	1回	1回
（2）創業時・事業承継時における事業計画策定支援と専門家派遣による支援	創業2件 事業承継1件	創業計画2件 事業承継計画4件 創業相談ルーム利用者16名（H31.1月現在）
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること		
（1）事業計画策定事業者・事業承継計画策定事業者への支援	21件（84回）	32件（89件）
（2）創業計画策定事業者への支援	2件（12回）	2件（4回）
5. 需要動向調査に関すること		
（1）域内の消費者調査	2社（2回）	0社（0回）
（2）域外の消費者調査	1社（1回）	1社（1回）
（3）最新の消費・トレンド動向等の把握による情報提供	3社	7社

項 目	目 標	実 績
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること		
(1) 商談会や展示会等への参加支援	参加1社 成約1社	専門家による販路開拓指導2社(4回) 新たな需要開拓1社
(2) ホームページ作成・分析・活用セミナーまたは相談会の開催	参加10社 新たな需要開拓3社	参加17社 新たな需要開拓0社
(3) ザ・ビジネスモールによる販路開拓支援	累計登録15社 新たな需要開拓3社	累計登録16社 新たな需要開拓4社
II. 地域経済の活性化に資する取組		
1. 地域資源・観光資源の活用振興事業	市内への観光客入込数 2,913千人/H28年 現代美術館観覧者数 136,400人/H28年	市内への観光客入込数 2,916千人/H28年 現代美術館観覧者数 131,592人/H28年
2. 中心市街地活性化事業	中心商店街歩行者通行量 2,537人/加重平均	中心商店街歩行者通行量 1,988人/加重平均